

音羽川水質検査



めだかっこ調査隊

1・はじめに

ぼくは4年生の時に音羽川についてボランティアの人から話を聞いたり学校で勉強をしました。勉強をする中で「もっと音羽川について知りたい」と思い自分で調べることになりました。

2・音羽川とは

愛知県東部の東三河地方を流れる河川。二級水系の本流です。

<地理>

水源は豊川市長沢町にあり、市内長沢町・国府町間では国道1号に沿うように流れ市内国府町から南へ三河湾に注ぐ。

御油町から国府町にかけては川原に桜の木が多数植えられていて春になると美しく花見をする人が多くいる。



ここで水質調査をしました。



3・調べてみよう

月日	7月15日(日)	7月22日(日)	8月15日(水)
天気	晴れ	晴れ	雨
時間	10時30~12時30分	12時~13時	12時
気温	39度	38度	27度
水温	30度	35度	25度
透視度	100cm	91cm	4cm
PH		7(中性)	7(中性)
水位	(深い)1m (浅い)26cm		(浅い)60cm
水の色	透明		こげ茶色
におい	なし		
流れ方	ゆっくり		すごく速い
生き物	メダカ・こい・アメンボ よしのぼり ミシシippアカミミガメ	メダカ・こい・よしのぼり	危険なため観察出来なかった
まわりの様子	・草が所どころに生え、川のまわりはコンクリート・石で固められている ・ゴミは無い	・花火遊び後の花火・タバコお菓子のふくろが落ちていた ・川の水に小さく黒い石がまざっていた ※ゴミ拾いをするとスーパーのふくろ1ふくろ分集まった	

★よしのぼり

アジア熱帯・湿帯の淡水から汽水域に広く分布するハゼの1グループ。
ハゼ亜目ハゼ科ヨシノボリ属に分類される魚の総称。



★めだか

ダツ目メダカ科に属する魚。淡水魚。
小川や水路に生息し動物・プランクトンなどを食べる。
蚊の幼虫ボウフラも好んで食べる。



★ミシイッピアカミミガメ

カメ目ヌマガメ科
雑食性



★アメンボ

アメンボ科の総称。

肉食で水面に獲物や死骸が落ちると素早く近づいて前足で捕獲し針のような尖った口器を突き刺して体液を吸う。

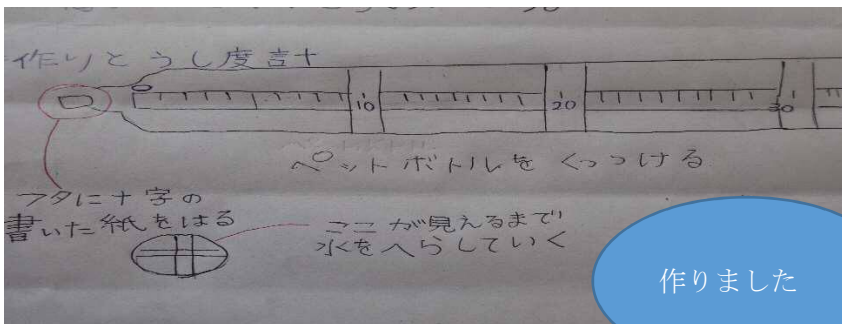


4・透視度とは

川のごりの程度を透視度計を使って測ります。

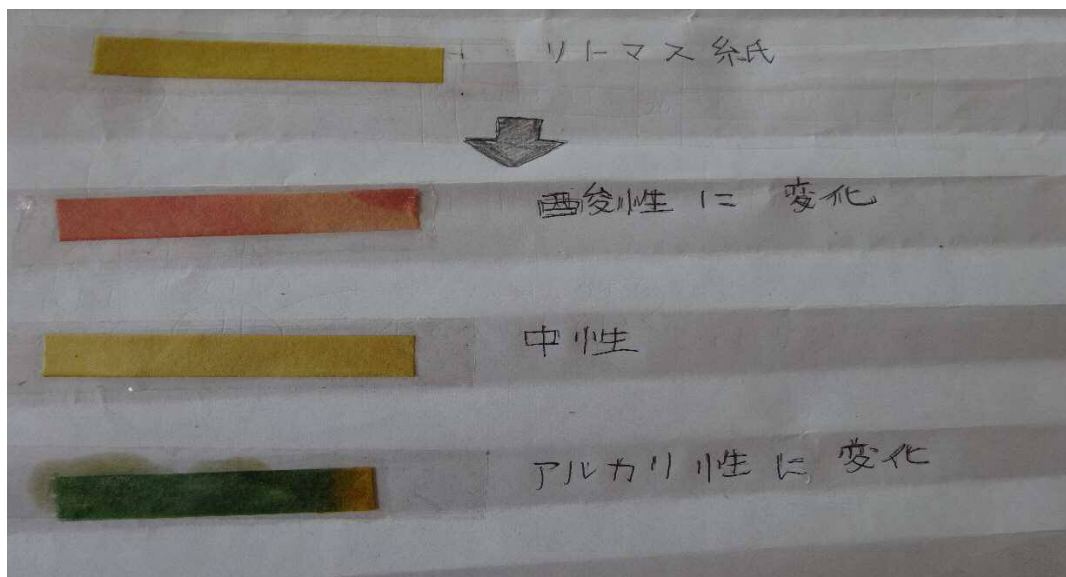
※ぼくは、手作り透視度計を作り測りました。

cmが高いほど水が透明です。



5・PHとは

酸性・アルカリ性の度をあらわす単位。中性はPH7です。これより低い数値を酸性・高い数値をアルカリ性と言います。



6・調べた結果

音羽川は、きれいな川だとあらためて思いました。
外来種が多いと思いました。

7・まとめ

きれいな音羽川なのに、遊んでゴミをそのままにして帰って行く人がいるのは、悲しいと思いました。きれいな音羽川を残すにはどうしたらいいか？
川をきれいに行っている姿を新聞や広報にのせてもらったり川の生き物の様子をもっとアピールするのはどうか・・・と考えました。
ぼくたちが出来ることは、音羽川に遊びに行ったり観察に行った時にゴミが落ちていたら拾うことだと思います。

8 反省

CODのパッチテストが上手くできず数値が測れませんでした。次回、再チャレンジしたいです。